

五山の送り火 「法」の字を守る

ボランティア

防護柵設置作業参加者募集

京都の夏の大切な行事である五山の送り火。その一つである「法」の字の火床のある山で深刻な問題が起きています。

シカの採食によって植物がなくなり、土壌の流出が起きて火床を保つことも難しくなっています。シカを排除しなければ、根本的に問題を解決できないため、シカの侵入を防ぐ防護柵を設置することになり、昨年度、東側と西側の防護柵を設置しました。今年度は上側と下側の防護柵を設置して、防護柵を完成させます。つきましては、今年度の作業参加者を募集します。

作業日時と内容

①3月19・20日(土・日)

時間: 9時～16時

資材運搬と設置作業

②3月26日(土)

予備日

※少雨決行、雨天の場合は日程内で作業を順延

作業内容: 防護柵の設置作業

19日午前中に資材を運び、午後から設置作業。

作業強度はいずれも普通の山作業程度。

ただし、現場は足下の悪い斜面もありますので、滑りにくい靴など、きちんとした山装備が必要です。

※作業は10人で2日で終わる程度の量です(部分参加可)

必要装備・道具: 山作業できる格好、軍手、昼食、飲み物

※注意: ボランティア活動なので謝金等はありません。

集合と解散 「法」の字の麓にある妙円寺(大黒天)

9時集合、現地解散

駐車場は台数が限られるため使用できません

申込み・問合せ先

高柳 敦: takayanagi.atsushi.5e@kyoto-u.ac.jp

必要事項: 氏名、生年月日、連絡先、参加日

申込み〆切: 3月11日



本事業は、「左京区まちづくり活動支援交付金」並びに、「READY FOR」のクラウドファンディングによる資金を活用して実施しています。

2014年



現在



設置指導

高柳敦(京都大学)

山での金属柵の設置方法を学べます

主催: 公益財団法人松ヶ崎立正会

協賛: 「宝が池の森」保全再生協議会

京都宝の森をつくる会

